FAJ

離床・転倒・徘徊　見守りセンサー

シンプルな設置と長距離無線で、複数居室を一括管理

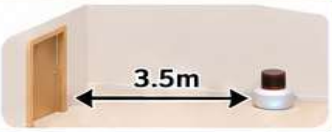
RTH-25

多床対応版 離床・転倒・徘徊見守りセンサーの試験方法

準備

昼間の試験では、緑色の照度センサー（直径3mmのLED）を 1cm 角の黒い遮光シールで覆います。

センサーは入口から 3.5m 離して設置します。

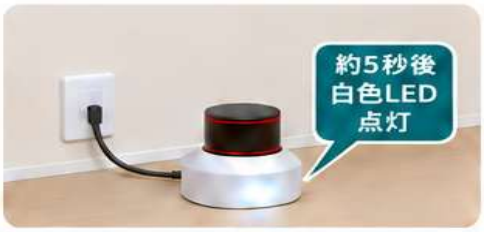


試験手順

1 センサー装置はナースステーションの表示を確認できる場所に設置し、電源を接続します。



2 センサーに電源を接続。約５秒後に白色LEDが点灯したら、速やかに退室



3 １分後に白色LEDが消灯したら入室。表示は「介護」



4 退室すると「介護」が消え、「正常」に戻る



5 再入室し「介護」を確認。ベッドに入り、センサーを少し動かす。約５秒後に白色LEDが点灯



6 １分後に白色LEDが消灯したら、ベッドから足を下ろす。表示は「離床」



7 床に横たわる。表示は「転倒」



8 退室する。表示は「徘徊」



9 再入室すると「離床」。ベッドに入ると「正常」



試験終了後　黒い遮光シールを外します。昼間は白色LEDが点灯せず、夜間まで待機します。

注意点　モーターの寿命は約5年です。交換できるよう本体は両面テープで固定しています。取り扱いにご注意ください。



改良・変更のご要望　離床検知の無効化、ベッド下設置型、設置距離（3.5m）の変更、ナースコール連動など、ご要望をお知らせください。

監視項目　正常　間取　離床　転倒　徘徊　介護　故障　無応答

株式会社エフエージェイ　〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘7-25　https://fajpn.com